

ブロック活動 関東甲信越

「第27回 全国まちづくり会議」

2019. 2. 2・御影公会堂

一般社団法人 群馬建築士会

高橋 康夫



I まちづくり・ブロック連携交流会（1）

◎開催趣旨：関東甲信越ブロックにおいては、2016年に「新潟県建築士会・長野県建築士会まちづくり交流会」が、地域間のまちづくり交流の場として、新潟県内で初めて開催されました。

2017年には、長野県内で開催されたところです。

2018年は、両建築士会まちづくり交流会を発展させる形で、「関ブロまちづくり交流会」として、群馬県で開催されました。

折から、士会連合会まちづくり委員会では、5つの部会を立ち上げ、よりきめ細かな活動実践に向けて動き始めています。

◎関東甲信越ブロック会所属：1都9県



東京・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・山梨・長野・新潟



I まちづくり・ブロック連携交流会（2）

◎桐生市内散策：平成30年11月16日（金）～17日（土）

◎開催会場：桐生市「有鄰館」

桐生市内・みどり市内

◎行程：11月16日（金）

歴史的建造物「群馬大学同窓会館」～「四辻の齊嘉」（昼食）

～ノコギリ屋根建築物（パンベーカーリー・後藤織物）～

桐生市新町伝建地区（散策）～「有鄰館」（景観デザインレ

ビューキャラバン・シンポジウム）

交流会

11月17日（土）

わたらせ渓谷鉄道乗車（桐生一大間々）～ながめ余興場～大

間々市内街並み散策



I まちづくり・ブロック連携交流会（3）

ノコギリ屋根
後藤織物工場



I まちづくり・ブロック連携交流会（4）

景観デザイン
レビューガイ
ダンス



一般社団法人 群馬建築士会

I まちづくり・ブロック連携交流会（5）

◎景観デザインレビューキャラバン

士会連合会が推奨している「景観デザインレビューキャラバン」の一環として、ガイダンスを開催しました。

（1）デザインレビューのススメ

講師：都市環境研究所の平寄大地 氏

（2）景観講演会

講師：スペースシンタックスジャパンの高松誠治 氏

演題：「地方都市における景観」として、地域の経済・社会・暮らしのための景観形成とデザインレビュー」



I まちづくり・ブロック連携交流会（6）

シンポジウム
「伝建地区の
今・未来」



I まちづくり・ブロック連携交流会（7）

◎シンポジウム

（1）テーマ

「伝建地区の今・未来」

（2）コーディネーター

群馬・栗原昭矩 氏

（3）パネリスト

新潟・本間俊一 氏

長野・湯本和正 氏

群馬・柳井 桐生市文化財保護課課長補佐

東京・高松誠治 氏



I まちづくり・ブロック連携交流会（8）

ながめ余興場



一般社団法人 群馬建築士会

Ⅱ まちづくり活動の課題（１）

（１）地域リーダー

- ①ブロック内での連携が不十分
- ②連携の取り方が不透明・不案内

（２）５部会

- ①ブロック内での部会開催の難しさ
- ②単位士会内での部会設立の難しさ



Ⅱ まちづくり活動の課題（２）

（３）参加連携

過去２回においては、ブロック内の参加が少なかったため、主体士会以外から、単位士会のまちづくり委員長以外にも数名の参加が望まれる。

（４）５部会との関係

まちづくり活動の主とされていた、「歴史」「景観」を中心に開催しているが、「福祉」「街中（空き家）」「防災」をブロック内連携をどのように作り込むのか。



Ⅲ まとめ

◎関東甲信越ブロックにおいては、新潟・長野主体で開始された、ブロック内連携のための、まちづくり交流会の主体士会を群馬が継続し、ブロック全体での大まちづくり交流会開催へ弾みがつきました。

連合会が提唱している、5部会について、先行している福祉まちづくり部会の運営を参考に取り込みながら、各部会において、行政とも連携し、まちづくりに貢献していく体制とする。



第27回 全国まちづくり会議

ご清聴ありがとうございました。

